



ドリームチーム LISUS こじやりハ新聞

おかげさまで、今年で創業20年目を迎えます！これからも地域と共に歩みます！



いつも当社在宅ケアサービスへの格別のお引き立てを頂き、心より厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、今年で会社創業、ドリームチーム開業20年目を迎えます。当時、元近森リハビリテーション病院の院長、故石川誠医師が立ち上げた「たいとう診療所(東京都台東区)での在宅ケアの武者修行からUターンし、高齢化先進県の高知の在宅を盛り上げるべく会社を設立しました。

その頃は、まだまだ在宅サービスが少なく、サービスが充実しているとは言えませんでした。医療職においては、急性期が花形、在宅は使いものにならないスタッフが回される現場といった差別的な視点がありました。そのような業界の風潮は、私にとって力の源になりました。逆に、在宅は最後の砦だから、自分が

当新聞があなたの
スマホで読めます！
毎月15日発行



リハビリ
デイセンター
こじやりハ
のいち
0887-50-1252

3月にリニューアル！
介護予防
機能を強化！



令和8年3月から、こじやりハのいちも、3時間と7時間コースの選択制に移行します。特に運動入門 キャンペーンを推進し、3時間コースを今まで以上に拡充します。運動初心者でも気軽に利用できる介護予防拠点として事業所機能を強化していきたいと思います！

3時間コース

午前： 9:30～12:35
午後： 13:30～16:35

7時間コース

日中： 9:30～16:35

<選択メニュー>
・運動のみ
・運動+脳トレ
・運動+買物訓練
・運動+食事
※送迎付き



ちなみに、1月・2月も、3時間コースは下記の時間設定で受入れ中です！
冬場の体力低下予防では是非ご活用ください。
午後の部が、暖かい時間帯でおススメです！

午前の部： 10:00～13:05
午後の部： 13:00～15:30等

管理者 介護福祉士 増井

3月からの
リニューアルチラシ

2026年
2月号

介護・医療制度が 大きく動きます！

BREAKING
NEWS

●地域特性に応じた新スキームの創設

介護保険制度は、地域格差の拡大に対応するため、「全国一律」から地域の特性に合わせた整備へと転換します。厚生労働省は全国を「中山間・人口減少地域」「大都市部」「一般市等」に分類し、特に維持が困難な過疎地等では、ICT活用による人員基準の緩和や定額報酬(包括評価)の導入など、柔軟な枠組みを新設します。

●ケアマネジャーの処遇改善と更新制廃止へ

今年度補正予算で、居宅介護支援のケアマネジャーが初めて国の賃上げ策の対象に。6月からは臨時の介護報酬改定で、「処遇改善加算」の対象となります。また、長年の課題だった資格更新制の廃止の方向性が決定しており、令和9年度からの施行になるよう。更に日本介護支援専門員協会の柴口会長は、平均年収500万円の実現に向けた基本報酬の引き上げを求めていました。

●訪問看護ステーションの適正化

厚生労働省は、不適切な診療報酬請求が指摘されているホスピス型老人ホームや精神障害者向け訪問看護ステーションに対し、令和8年1月から全国一斉調査を開始します。不正や過剰請求の実態を解明し、不適切な事業者には報酬の返還を指導する方針です。全国的に不適切な運営の訪問看護の問題がマスコミに取り上げられています。高知県でも不適切な事業所の情報が聴こえてきますので、巻き込まれないよう、ご注意ください。

●厚生労働省の処遇改善に関する落とし穴

令和7年12月からの「緊急支援パッケージ」や、令和8年6月に行われる、臨時の介護報酬改定による処遇改善は、介護従事者に月1万円の賃上げや更なる上乗せの話が話題になっています。

しかし、これは厚生労働省が予算を立てる際の目安です。実際の処遇改善の支払いは、各事業所の事業収入に連動しているので、稼働率により額が変わります。また、職員の所得の増加に伴う法人側の社会保険料(所得の約15%)の調整も支払い額に含まれる事業所もあるため、実際の手取り額は、蓋を開けてみるまで分からないのが現状です。

ケアマネセンター

こじやりハ
ぷらん
080-2227-1473

RUN伴こうち2025 に参加しました！



昨年11月に開催された、
RUN伴(ランとも)こうち2025に、
こじやりハぷらんとして参加しました。

普段は真っ赤なアロハシャツがトレードマークのこじやりハぷらんですが、当日はオレンジ色のTシャツに襟をかけ、認知症のある方やご家族、医療・福祉関係者、地域の方々とともに、想いをつなぎながら走りました。

なお、当社の
吉良社長や、
こじやりハこうち
の八鍬統括所
長も参加し、走
って汗を流さ
れました。



吉良社長↑ ↑八鍬さん

「RUN伴」は、認知症の人とこれまで接点のなかつた地域住民や企業が出会い、同じ時間と空間を共有することで、「認知症とともに生きるまち」を考えるきっかけとなるイベントで、実際に走りながら認知症に関する情報を載せたチラシを地域住民の方に配布しながら櫻をつないでいきます。

認知症で日常生活に支障を来たす方は、今後益々増加すると見込まれています。「物忘れ」だけでなく、生活上の困りごとや家族の負担、事故などのリスクを見据えた支援、サービスの調整など、課題は多岐にわたります。

こじやりハぷらんでは、認知症のある方であっても、その人らしい生活を続けるために何ができるかを大切に、積極的に支援を行っています。訪問看護やリハビリ、デイサービス、小規模多機能居宅介護など、グループ内の多職種と多事業所と連携し、包括的なケアサービスの提供をこれからも実践しています。対応が難しい方でも、各事業所の管理者にしっかりと根回しをしますので、安心してご相談ください。

こじやりハぷらんはおかげさまで開設2年目を迎えることができました。令和8年も初心を忘れず、一步ずつ前進して参ります。

管理者 主任ケアマネジャー 宮田忠広

スーパーりハビリ
デイセンター

こじゅりハ
こうち



088-855-3719

気持ちの元気は
仲間との
コーヒータイム！



お正月気分が抜け、少し気持ちが引き締まる時期となりました。寒さが厳しい季節は、身体がこわばりやすくなりますが、少しずつ運動することで、転倒予防や体力向上につながります。

こじゅりハこうちでは、今年も利用者さま一人ひとりの体調や生活目標を大切にしながら、安全な運動・専門的リハビリを続けて参ります。

実は運動だけでなく、創作活動やボッチャの時間も、利用者さんにとって大切な時間です！

小規模多機能
ケアセンター

こじゅりハ
らいふ



088-802-7223

こじゅりハらいふは
若返りの秘訣!!



新しい年がスタートし、こじゅりハらいふにも元気な笑顔とにぎやかな笑い声が戻ってきました。「今年もよろしくね」、「ここに来たらホッとする」今年も安心と楽しみのある時間を提供していきたいと思います。

さて今回は、思わず職員も笑顔になったYさん(80代・女性)の「新年ニュース」をご紹介します。

こじゅりハらいふの利用を始めてちょうど丸2年になるYさん。先日、近所の方に声をかけられた際、「あら？ Yさん、何だか若返ったんじゃない？」と、言われたそうです。

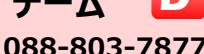
思いがけない一言に、Yさんは照れ笑い。「こじゅりハに行きゆうきかねえ」と、うれしい言葉を返したそうです。



訪問看護リハ
ステーション

ドリーム
チーム

D



088-803-7877

冬のレンタル社長
ケアマネさんの
訪問同行中！



1)新規ケースの状態評価とサービス助言

歩行障害の確定診断がでていない80代の男性(介護度未確定)。症状から歩行障害の原因を推論し、当面のケアプランの方向性を提案。今後のリスクに関しても共有。自主トレの方法を指導する。確定診断にむけ、医師用の評価報告書を提出。



運動の合間のコーヒータイムは、手挽きしたコーヒーの香りに包まれながら、ほっと一息つく大切な時間となっています。

仲間同士の交流が元気の源となっている人も少なくありません。

今年も利用者さんにとって、笑顔の多い一年になるよう、お手伝いさせて頂きます！



Yさんは週2回、通いサービスをご利用されています。来所すると、まずはお風呂で心も体もゆったりぽかぽかに。その後はレッドコード運動や脳トレプリントに挑戦し、頭の体操も欠かしません。通いがない日はスタッフがご自宅を訪問し、朝、昼、夕の服薬の確認を行うことで、安心した在宅生活を続けられています。

またご自宅で転倒しないように訪問看護リハステーションドリームチームのリハビリを週に1回行っていることもYさんに取って心強さになっています。

最近のYさんの一番の楽しみは通いに行く前の「服選び」。前日からあれこれ服を取り出して悩みながら、「明日はこれで決まり！」、「変じやない？似合うかね？」と訪問したスタッフに確認し気合十分です。今年もこうした小さな楽しみを大切にしながら、地域の皆さんとともに、笑顔あふれる一年を歩んでまいります。



2)入浴動作に関する評価とサービス助言

80代の独居女性(要支援2)。浴室から上手く出られなかったことがあり、浴槽からの出入りの方法と環境調整を評価。通っているデイサービスで、一時的に入浴動作練習をすることを提案。後日、ケアマネジャーに報告書提出する。



お困りのケースがあれば、是非ご依頼ください。
無料でお伺いします。
電話相談もOK！
(2月末迄)

広報委員会の紹介 ～当社新聞に込めた想い～

広報委員会は、法人内の全事業所の代表職員で構成されており、様々な広報活動と共に、「ドリームチーム・こじゅりハ新聞」の編集作業も行っています。



当社新聞は、単なる自社活動の見える化だけの広報誌ではありません。国や制度の最新情報から、各事業所の運営情報や利用者さんのドラマ、職員や会社のドラマなど、ためになる情報から、心温まる情報、クスっとする話題など、世の中の様々な動きを読者の皆さんにできるだけ分かりやすくお届けすることを大切にしています。

毎月委員会では、職種や立場の異なるメンバーが机を囲み、「こんな内容どうやろう？」「現場のリアルが伝わっている？」「このご利用者さんの気持ちを皆に知つてもらいたい」といった視点で意見交換をし、各月の紙面づくりを進めています。

今、日本の政治の方向性を背景に、医療や介護、在宅ケアにおいて、大きな変革の時代に突入しています。現在どうなっているのか、これからどうなるのか等、現場の人間でもわかりにくい時代になっていまます。そこに一筋の光を灯すのが当社の新聞です。

地域に開かれた広報となるよう、また医療・介護の「今」を身边に感じていただけるよう、令和8年も様々な物語を追いかけながら活動して参ります。



空き状況のお知らせ

すずと社長の成長奮闘記！ 成長vs老いの競い合い…



昨年10月に娘すずが誕生し、子育てが17年ぶりに再開。それは、すごろくの「振り出しに戻る」的な感覚で、2度目の人生を経験しているよう。気持ちは若いが、間違いなく我が身はガタがきつつある。

実はすずは、私の7番目の子供。再婚ということもあり、4男子+合流2女子、さらにすずで7人という、少子化の現代にあらがう大家族である。高知県に表彰してもらいたいものである。

さて、55歳の子育ては、思っている以上に限界を感じる。一番困るのは、すずの顔にカスミがかかっているように見えること。そう、老眼の影響で…。すずの心理的安全を確保するため、しっかり抱っこすると、その距離感だと、ぼやけて見えてしまう…。

また、生まれた時は約2500gだった体重が、この3ヶ月で5kgと約2倍になり、抱っこする腕・首・腰が悲鳴をあげつつある。理学療法士は、肉体労働系なので、初老期から高齢期にはツケが回ってくる人が少くない。昔、若い時に、「あの先輩のように、なってたまるか！」と思っていたら、あの先輩のようになってきた(笑)。

すずの成長が早いが、私の老いが早いが、極めて重大な課題である。

最近のすずは、首すわりを目指してか、右向き左向きの運動に余念がない。そして、ミルクを飲んで落ち着いた時間帯は、コミュニケーションタイムとなり、呼びかけに笑顔で応えてくれるようになった。余りの嬉しさに、涙が出ることがある(笑)。つづく…

1月8日 現在



訪問看護リハステーション ドリームチーム		こじゅりハこうち 通所介護 高知市			こじゅりハ のいち 通所介護 香南市		こじゅりハ みらい 通所介護 香美市 南国市		こじゅりハ ぶらん 居宅介護支援	
看護師	PT・OT	通常 エリア	初月 エリア	重倉 エリア	看護師	PT・OT	通常 エリア	初月 エリア	重倉 エリア	
月	○	○	月	○	○	—	月	△	月	○
火	○	○	火	○	—	—	火	△	火	○
水	○	○	水	○	○	○	水	○	水	○
木	○	○	木	○	—	—	木	△	木	○
金	○	○	金	○	○	—	金	△	金	○
土	要相談	要相談	土	○	—	○	土	△	土	○
日	—	—	日	—	—	—	日	—	日	—

088-803-7877

088-855-3719

0887-50-1252

088-52-8222

080-2227-1473

こじゅりハらいふ
小多機介護
南国市

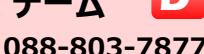
現在空き枠 1名
相談・見学はお気軽に
お問い合わせください。



訪問看護リハ
ステーション

ドリーム
チーム

D



088-803-7877

冬のレンタル社長
ケアマネさんの
訪問同行中！



1)新規ケースの状態評価とサービス助言

歩行障害の確定診断がでていない80代の男性(介護度未確定)。症状から歩行障害の原因を推論し、当面のケアプランの方向性を提案。今後のリスクに関しても共有。自主トレの方法を指導する。確定診断にむけ、医師用の評価報告書を提出。